

栃木県テニス協会
総監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成23年8月19日(金)～8月21日(日)
- ・会場 鹿島ハイツスポーツプラザテニスコート
- ・主催 (財)日本体育協会・茨城県・関東テニス協会・鹿島市
- ・主管 茨城県教育委員会・茨城県体育協会・茨城県テニス協会
鹿島市教育委員会・鹿島市体育協会
- ・後援 文部科学省

2. 試合方法

- ・男女共にダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：阿久津定之 選手：山口尚吾 青木 亮

2. 成年女子 監督：渡辺千鶴 選手：松重貴子 斎藤美幸

トレーナー：海老澤重一

4. 試合結果

成年男子 1回戦 対 茨城県：8月20日(土)

	栃木県	- 0	茨城県
S 1	山口尚吾	9 - 8	平岡伸雄
		(0)	
s 2	青木 亮	8 - 1	細貝龍彦
D	山口尚吾 青木 亮	打ち切り	平岡伸雄 細貝龍彦

成年男子 2回戦 対 千葉県：8月20日(土)

	栃木県	1 -	千葉県
S 1	山口尚吾	8 - 3	落合雄次
S 2	青木 亮	3 - 8	星野武蔵
D	山口尚吾 青木 亮	4 - 8	落合雄次 星野武蔵

成年男子 ブロック2～3位決定戦 対 東京都：8月21日(日)

	栃木県	0 -	東京都
S 1	山口尚吾	6 - 8	久松亮太
S 2	青木 亮	6 - 8	鈴木大介
D	山口尚吾 青木 亮	打ち切り	久松亮太 鈴木大介

成年男子 6位決定戦 対 山梨県：8月21日(日)

	栃木県	- 0	山梨県
S 1	山口尚吾	8 - 3	保坂充彦
S 2	青木 亮	8 - 6	遠藤 賢
D	山口尚吾 青木 亮	打ち切り	保坂充彦 遠藤 賢

成年女子 1回戦 対 東京都：8月20日(土)

	栃木県	0 -	東京都
S 1	松重貴子	3 - 8	大竹志歩
S 2	斎藤美幸	1 - 8	難波沙樹子
D	松重貴子 斎藤美幸	打ち切り	大竹志歩 難波沙樹子

成年女子 1回戦敗者戦 対 神奈川県：8月20日(土)

	栃木県	0 -	神奈川県
S 1	松重貴子	3 - 8	梅田さやか
S 2	斎藤美幸	2 - 8	福井恵実
D	松重貴子 斎藤美幸	打ち切り	梅田さやか 福井恵実

成年女子 8位決定戦 対 茨城県：8月21日(日)

	栃木県	0 -	茨城県
S 1	松重貴子	4 - 8	細貝詩織
S 2	斎藤美幸	5 - 8	寺田美邑
D	松重貴子 斎藤美幸	打ち切り	細貝詩織 寺田美邑

5. 所感

今年の大会は当初、神栖市で行われる予定でしたが、東日本大震災によりコートが液状化で使用出来なくなったため鹿島に変更になりました。大会前日の練習では朝から雨が降り、一時強く降る中、練習を行いました。また、気温も前日までの猛暑が一転して22度と前日より14度も気温が下がり半袖では寒い日でした。

大会初日も天気が悪く、雨の降る中大会が行われました。今年の選手は、成年男子の山口尚吾選手は5年連続、栃木で出場しています。青木選手は6年振りに出場する選手で現在、東京海上日動の実業団で活躍している選手です。成年女子の松重貴子選手は3年振りの出場今年、専修大を卒業し明治安田生命に入社し活躍している選手です。斎藤美幸選手は今回唯一の学生で、現在、東洋英和女学院大で活躍している選手です。

成年男子の初戦の相手は、茨城県でシングルス1の平岡選手は40歳になるベテランの選手ですがモチベーションの高い試合の組み立てが上手な選手です。過去に山口選手は対戦し負けている相手でした。また、青木選手も細貝選手とは先月の大会で対戦し負けている相手だっただけに苦戦が予想されました。シングルス2の青木選手は先月戦っていただけに相手のプレースタイルは分かっていました。青木選手からサーブで、サーブをキープすると相手のサーブをブレイクし波に乗るかと思われましたが、ダブルフォルトとスマッシュミスが重なり、直ぐにブレイクバックされた。しかし、そこからは青木選手がストロークで粘り相手のストロークのミスを誘い、再びブレイクバックすると中盤以降は青木選手のペースとなり、2 - 1から6ゲーム連取し8 - 1で青木選手が見事にリベンジした。一方、山口選手は5 - 6までお互いサーブをキープしたが、12ゲーム目でブレイクされ5 - 7と追い込まれましたが、平岡選手が勝ちを意識したのか、ミスを連発し、サーブをブレイクすると山口選手もサーブをキープし7 - 7と追い付きその後お互いにサーブをキープしタイブレークと纏れた。タイブレークに入ると山口選手は落ち着いてプレーし、何と7ポイント連取し、山口選手もリベンジを果たした。これで、2回戦に駒を進めた。

2回戦の相手は、第二シードの東京都を予想していましたが、2 - 1で東京都に勝った千葉県が対戦相手でした。千葉県のシングル1の落合選手はインカレ2連覇している実力の持ち主で、星野選手も現役のインカレ選手で強豪のチームです。シングルス2の青木選手は星野選手のスピードについて行けず、5ゲーム連取され後半やっとスピードに慣れサーブをキープし始めたが、前半のリードが響き、2 - 8で落とした。一方、シングルス1の山口選手は2 - 1から相手のサーブをブレイクすると波に乗り6 - 1と大きくリードした。その後、逆にブレイクされ6 - 3と追い上げてきたが、再びブレイクし最後はサーブをキープし8 - 3で勝利する金星を挙げた。これで1 - 1となりダブルス勝負になった。ダブルスは千葉県からサーブで、先にブレイクされ0 - 2となったが、直ぐにブレイクし2 - 2となりお互いサーブをキープし3 - 3となったところで、落合選手のサーブを15 - 45とブレイクチャンスでしたが、ミスとアンラッキーなショットで相手がキープすると、それから4ゲーム連取され3 - 7からブレイクし4 - 7としたがサーブをキープ出来ず、4 - 8で惜しくも負けてしまいました。対戦相手の星野はサーブのスピードが早くなかなかブレイクできませんでしたが、青木選手のリターンは相手の足もとに沈み調子良かっただけに7ゲームをブレイクしていたら流れが変わっていたかも知れませんでした。本番でダブルスが出来たのはとても良かったと思います。

大会2日目、ブロック2位3位決定戦では第2シードの東京都です。シングルス1の山口選手の相手は今回唯一のプロでJOP30位の久松選手でした。立ち上がりブレイクされ0 - 2とされた後4ゲーム連取で5 - 3と逆転しましたが、3ゲーム連取され再び逆転されました。再びその後お互いキープし6 - 7、ノーアドで相手がやっと拾ったロブをグランドスマッシュ。雨と風の影響でタイミングがずれ、ベースラインをアウトし、惜しくも6 - 8で負けてしまった。シングルス2の青木選手も6 - 6までお互いサーブをキープ、13ゲーム目にブレイクされると惜しくも6 - 8で敗れた。シングルス1、2とも接戦でしたが、0 - 2で負けてしまったため、ブロック3位で対戦した茨城県の結果次第で後1試合やるかやらないかが決まりました。残念ながら、茨城県は1 - 2で山梨県に負けてしまったため、6位決定戦、最後の本国体の切符を掛けて戦う事になりました。

山梨県のシングルス1の保坂選手とは昨年対戦して、山口選手は負けていましたが、今年山口選手のストロークも安定し、前半競りましたが、後半は山口選手のペースでゲーム運び、8 - 3でリベンジしました。一方、青木選手は接戦の末、8 - 6で勝利し、今年も成年男子は本国体出場を果たした。

成年女子の初戦の相手は、東京都でした。さすがに、第1シードだけあってシングルス1の松重選手は粘ったものの3 - 8で落としてしまいました。シングルス2の斎藤選手は、初めての代表のせいもあり、初戦は少し硬くなってミスが目立ち、1 - 8で負けてしまいました。これで、次の試合は負けられなくなりましたが、ブロック4位決定戦では、シードの神奈川県が山梨県にまさかのストレート負けをし、厳しい相手となりました。松重選手はセミアドまで粘りましたが、あと1本が取れず、3 - 8で落としてしまい、シングルス2の斎藤選手もストロークで粘りポイントを取りましたが、チャンスボールのミスとダブルフォルトでなかなかキープができず、後半、いい攻めでポイントを取りましたが、相手のバックハンドに押され、2 - 8で負けてしまいました。

次の相手は茨城県で、お互い負けられない試合となりました。松重選手は先日から左肩を痛め、バックハンドが思うように打てず、4 - 8で落とし、斎藤選手も接戦でしたが、5 - 8で負けてしまい、成年女子は今年も本国体出場の目標が果たせませんでした。2人とも雨の中、最後まで諦めずに良く頑張ってくれました。必ず、今後につながる経験になったと思います。

本国体には今年も男女揃って出場にはなりませんでしたが、今年の成年男子はシングルス2本取って決めた試合が2試合あり、負けた相手の東京都と千葉県は本国体でも上位に行くチームなので、そのチームに互角に戦うことができ、本国体でも組合せ次第では上位に行くことが可能だと思います。山口国体では是非、ベスト8を目標に頑張りたいと思います。最後に、関東テニス協会をはじめ、茨城県テニス協会の役員の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。また、栃木県体育協会にはいろいろご支援、ご指導いただき、ありがとうございました。今後とも栃木県のテニス競技発展のため、頑張ってもらいますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。